

平成31年3月27日  
自動車局安全政策課

## バスターミナル等における先進的警備システム実証実験結果とりまとめ

国土交通省では、不審人物や不審物を自動で検知できる「先進的警備システム」のバスターミナル等における導入に向けて実施した実証実験の結果をとりまとめました。今後、同システムの導入促進につなげて参ります。

国土交通省は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、バスターミナル等不特定多数が集まるソフトターゲットに対する警戒強化を目指し、不審人物や不審物を自動で検知できる「先進的警備システム」のバスターミナル等における導入に向けて実施した実証実験の結果をとりまとめました。

### 1. 実証実験の目的

先進的警備システム実証実験は、その導入効果を検証及び評価することによりバスターミナル等への同システムの導入促進を図ることを目的に実施しました。

### 2. 実証実験の概要

実証実験の実施に当たり、学識経験者を含めた自動車分野に対するテロ対策検討会（以下「検討会」という。）を設置し、要求水準、募集要項、参加事業者の選定、実証実験結果の評価などの重要事項について、検討会の審議を経た上で進めました。

実証実験は、平成30年12月17日から20日までの間で、新宿南口交通ターミナル（バスタ新宿）の一部区域において、公募の上選定された事業者の協力により、バスターミナルで有効と思われる機能を中心に実施しました。（別紙1参照）

なお、検討会において個人情報や技術情報などには特に配慮すべきとの提言があったため、それらに十分配慮した上で実験を行いました。（別紙2参照）

実験終了後、各事業者から報告された検証結果が検討会に報告されたことを受け、検討会により総評として取りまとめられました（「先進的整備システム実証実験検証結果の総評」平成31年3月4日自動車分野におけるテロ対策検討会（第3回））。（別紙3参照）

### 3. 先進的警備システムの導入促進に向けて

今回の実証実験により、参加した各事業者のシステムについて、不審者・不審物等を検知する機能を有していることが確認できました。

本実証実験により、参加事業者はバスターミナル等の特性などを把握できたことから、検証結果が先進的警備システムの更なる性能向上に寄与するものと思われます。国土交通省は、本検証結果を踏まえ、バスターミナル等の警戒強化を目指します。

#### 【お問合せ先】

自動車局 安全政策課 櫻井 塚田 杉本  
代表 03-5253-8111（内線 41602、41613）  
直通 03-5253-8566

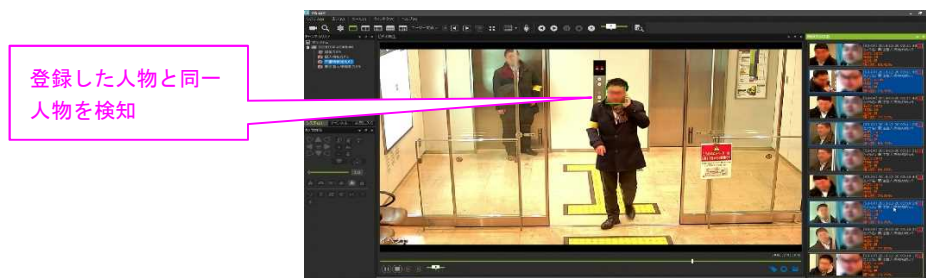
## 実証実験で実施した主な機能

実証実験は、新宿南口交通ターミナル（バスタ新宿）の一部区域の警戒強化に有効と思われる以下の機能を実施しました。

各事業者によって様々な技術を応用していますが、機能毎に実施された実験の一例を以下に示します。

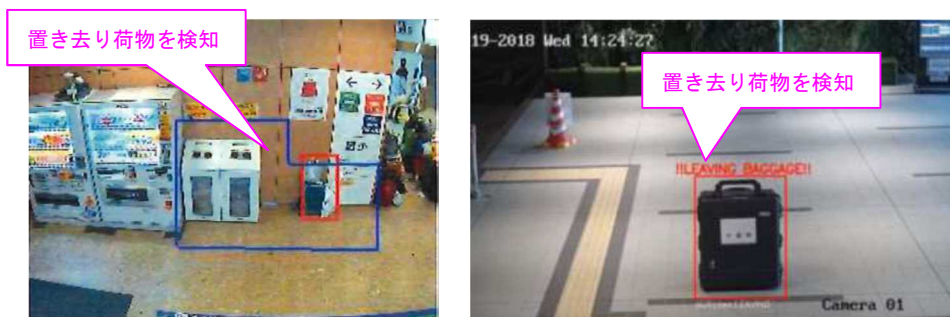
### ①不審人物の顔認証による検知・自動通報

実験用に予め登録する人物の通行を顔認証により検知する【一例】



### ②不審物の置き去り検知・自動通報

一定時間放置された物体を検知する【一例】



### ③不審行動の検知・自動通報

群衆の通常行動に対して異常な行動をとった人物を検知する【一例】



### ④不審人物、不審行動者の自動追尾

不審人物や不審行動者を現場に設置するカメラで自動的に追尾する【一例】



## 情報セキュリティへの対応

### 1. 個人情報に配慮した実験

検討会における審議過程において、バスターミナル利用者など一般の方が映り込む映像を取り扱う実験となるため、個人情報に関する事項については特に配慮すべきとの提言をいただき、実証実験を進めるにあたり、「個人情報保護に関する基本指針（プライバシーポリシー）」を独自に定め、その目的や情報の安全管理措置などを明確化し、公表の上、実施しました。

### 2. 技術情報に配慮した実験

検討会では、各参加事業者が持ち寄った技術には製品化されていないシステムも含まれていることを想定し、個人情報と同様に技術に対する機密保持についても配慮が必要との提言をいただきました。実証実験を進めるにあたり、各参加事業者はもちろんのこと、検討会の各委員に至るまで情報を取り扱う関係者に対し、守秘義務の徹底を図りました。また、検討会の資料についても、技術情報や警備情報を含む資料は全て非公開としました。

### 3. バスターミナル等の利用者へ配慮した実験

実証実験を実施した新宿南口交通ターミナルにおいては、「実証実験実施中」を示すポスターを掲示し、「実験の目的」・「方法」・「プライバシーポリシー策定」等を多言語で表記するなど目に見える形で明確に示した上で実施しました。

国土交通省 バスタ新宿をご利用の皆様へ  
国際テロの未然防止を目指した先進的警備システム実証実験への  
ご協力をお願いいたします！  
Advanced security system demonstration now on working!

**実証実験の目的**  
2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に際し、バスターミナル等のテロターゲットに対する国際テロの防止対策として、国際的自主警備体制強化を目的とした実証実験です。  
This is a demonstration experiment aiming at "strengthening bus terminal self-guard systems" as a measure to prevent international terrorism against soft targets such as bus terminal for 2020 Tokyo Olympic and Paralympic Games.

**実験方法**  
バスターミナル待合室、乗車口、降車口に設置されたカメラを通じて、不審行動や不審物を検知する実験を行います。  
Using the cameras installed in the waiting room, boarding and exit areas in the Bus terminal, let us detect suspicious persons and suspicious objects.

**期間** 12月17日(月)～20日(木)  
新宿南口交通ターミナル(バスタ新宿)

**場所** 4階待合室、乗車口、3階降車口等

**主催者** 国土交通省 自動車部  
プライバシーポリシー 個人情報の適切な保護と取扱いが重要テーマであること認識し、実証実験において個人情報保護に関する取手を適切に実施し、厳守します。

**問合せ** 国土交通省自動車部 安全推進課  
TEL 03-5253-8111 (内線41613)  
03-5253-8565 (夜間)  
受付時間：平日9:30～21:00

**URL** [http://www.mit.go.jp/jidosha/jidosha\\_tk2\\_000070.html](http://www.mit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000070.html)

**協力事業者 (50音順)** 株式会社アストロワ、株式会社クリューシステムズ、セコム株式会社、セントラル防衛保障株式会社、総合警備保障株式会社、パナソニックシステムソリューションズ ジャパン株式会社、株式会社富士通マーケティング

ALSOX SECOM Panasonic

国土交通省 给每个人的用户  
以预防国际恐怖袭击为目标的先进警备系统的验证性实验  
请给与协助  
Advanced security system demonstration now on working!

**验证实验的目的**  
为了2020年东京奥运会和残奥会，针对巴士终端等被国际恐怖袭击的软目标，正在进行以强化自助自主警备体制为目的的验证实验。  
This is a demonstration experiment aiming at "strengthening bus terminal self-guard systems" as a measure to prevent international terrorism against soft targets such as bus terminal for 2020 Tokyo Olympic and Paralympic Games.

**实验方法**  
巴士终端的候车室、上车口和下车口的摄像头，将发现可疑人物和可疑物品。  
Using the cameras installed in the waiting room, boarding and exit areas in the Bus terminal, let us detect suspicious persons and suspicious objects.

**期间** 12月17日(月)～20日(木)  
**场所** 新宿南口交通枢纽  
4楼候车室、上车口、3楼下车口等

**主办方** 国土交通省 汽车局

**个人信息保护政策** 对个人信息的合理保护使用的重要性有深刻认识，针对这个实验制定了《个人信息保护基本方针》并严格执行。

**电话咨询窗口** 国土交通省汽车局安全推进课  
TEL 03-5253-8111 (内线41613)  
03-5253-8565 (夜间)  
接待时间：工作日9:30～21:00

**网址** [http://www.mit.go.jp/jidosha/jidosha\\_tk2\\_000070.html](http://www.mit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000070.html)

**协力企业 (50音顺)** 株式会社アストロワ、株式会社クリューシステムズ、セコム株式会社、セントラル防衛保障株式会社、総合警備保障株式会社、パナソニックシステムソリューションズ ジャパン株式会社、株式会社富士通マーケティング

ALSOX SECOM Panasonic

上記に基づいて、実証実験を実施した結果、円滑に実証実験を進めることができ、バスターミナル等利用者からご理解を頂いたものと思います。

平成 31 年 3 月 27 日

自動車分野におけるテロ対策検討会

## 先進的警備システム実証実験検証結果の総評

### 1. 実証実験の背景

欧米諸国等において発生している最近のテロでは、公共交通機関、大規模集客施設等のいわゆるソフトターゲットが標的となる傾向にあることを踏まえ、関係省庁は、ソフトターゲットに対するテロについて、施設管理者との連携や訓練の実施、必要な警戒警備体制の構築、効果的な装備資機材の導入等により警戒強化を推進しています。

このような背景の中、国土交通省は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、バスターミナル等不特定多数が集まるソフトターゲットに対する警戒強化のため、先進的警備システムによる実証実験を行いました。

### 2. 実証実験の目的

不審人物や不審物を自動で検知できる先進的警備システムについて、導入効果を検証及び評価することにより、バスターミナル等への先進的警備システムの導入促進を図ることを目的に実施しました。

### 3. 実証実験の概要

実証実験は、平成30年12月17日から12月20日の間で、新宿南口交通ターミナル（バスタ新宿）の一部区域において、7事業者の協力により実施しました。

実証実験は、不審人物・不審物の検知が可能なシステム等を設置し、参加事業者による模擬行動を実施することにより、バスターミナル等で有効に機能すると思料された①不審人物の顔認証による検知機能、②不審物の置き去り検知機能、③不審行動の検知機能及び④不審人物・不審行動者の自動追尾機能を主軸に実施し、実験後に各事業者により検証結果を報告して頂きました。

### 4. 参加事業者（五十音順）

株式会社アシストユウ、株式会社クリューシステムズ、セコム株式会社、  
セントラル警備保障株式会社、総合警備保障株式会社、  
パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社、株式会社富士通マーケティング

### 5. 実証実験検証結果の総評

バスターミナル等の警戒強化に当たっては、利用者の流動性や利便性の低下を最小限に抑えつつ、不審人物・不審物を自動で検知することにより、テロの未然防止に効果があるシステムが求められています。

今回の実証実験により、参加した各事業者の先進的警備システムについて、不審人物・不審

者を自動で検知する機能を有していること等が確認できました。

また、参加した事業者においては、実際のバスターミナル等で実験的に先進的警備システムを稼働させたことにより、バスターミナルの特性を把握することができたことから、今後の更なる性能向上に寄与するものと考えます。

本実証実験で得られた検証結果については、同システムの導入促進のため、今後有効に活用されることを期待しています。